

うつのみやまちづくり市民会議 議事録

会議の名称	市民会議（第6回産業振興分科会）
開催日時	平成17年3月22日（水）午後6時30分から8時30分
開催場所	宇都宮市役所 16階中会議室
出席者	（市民委員）津谷会長，金谷副会長，金枝委員，佐藤要委員，佐藤弓子委員，佐藤竜一郎委員，花田委員，三尾谷委員 （市事務局）
会議内容	・重点課題の絞込み，整理
会議資料	1. 第5回分科会 議事次第 2. 第6回資料
発言者	発言内容
進行	それではこれから第6回分科会を行います。今回の分科会では，第5回までで議論した重点課題を全体で5つ程度に絞り込みます。議論にあたって，事務局から進め方などの資料を説明してもらいます。
事務局	（資料説明）
進行	前回までに整理した課題の中で，特に重点的に取組まなければならない課題について議論をお願いします。 また，産業振興分野だけでなく他の分野も巻込んで取組まなければならない分野横断的な課題について議論します。
各市民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まず第一に重要なのは，「安全・安心な食品供給基地の整備」である。背景としては，健康食品ニーズの高まり，食の安全ニーズの高まり，外国産食品との競争の激化への対応（差別化）が必要になっていることと，宇都宮市には一次産業基盤がフルラインで整っているため強みを生かせることが挙げられる。このためには，食育の推進，学校給食の見直し（地元食材の活用，地産地消の推進）等が求められる。 ・第二に重要なのは，「新しい観光業の創出」である。背景としては，優良な観光資源を持っている（おいしい水，豊かな緑・自然，大谷石等）が活用されていないことや，癒しが求められる社会においてそれらの資源を活用できることが挙げられる，このためには，歴史文化資源の再評価，観光業者のPRの工夫や，大谷石までのアクセス改善（東京からの直結等），大谷周辺の資源のシナジー活用（ロマンチック村，グリーンツーリズム，ハングラライダー等）や道路・地域のネーミング改善が求められる。 ・第三に重要なのは，「企業家精神が欠如している現状を打破し，ベンチャー企業の育成を図る」である。背景としては，既存産業が成熟化する中で，新しい宇都宮市を牽引するニュービジネスが期待されていることや，

<p>進行</p>	<p>現状では、産業教育が十分でないため企業家精神が市の若者に育っていない、これらの現状を克服する必要がある等が挙げられる。このためには、産学連携事業の拡大やキャリア教育等の産業教育の充実、行政による起業家支援（インキュベーターとして）が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第四に重要なのは、「若年労働力不足時代への対応」である。背景としては、少子高齢化、ニートの増加等により若年労働力が不足すると考えられるため、若年労働力を確保育成する必要がある等があげられる。このためには、外国人労働者の適切な活用、高齢者人材の活用、育児環境の整備や若者に魅力的な職場づくり等が求められる。 <p>また、この課題は教育文化、市民福祉分野と連携して取組まなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第五に重要なのは、「中心市街地空洞化への対応」である。背景としては、若者のスポット喪失や高い地価、駐車場不足や郊外への大規模商業施設の立地等により中心市街地が空洞化しているが、市民からの中心市街地活性化ニーズは強く、取組むべき等が挙げられる。このためには、医療施設・高齢者用マンションの誘致や魅力ある拠点づくりが求められる。 <p>重点課題の絞込みが出来ましたので、今日はここまでといたします。次回は全体会の検討を踏まえて施策の検討を行います。</p> <p>次回の日程は4月26日（水）18時半からですが、場所は後日ご連絡いたします。それでは以上で第6回の市民会議産業振興分科会を終了します。ありがとうございました。</p>
-----------	--